

ふるさと文学の振興

H24. 7月6日開館

高志の国文学館 H26.1.25 入館23万人到達!



文学館メインエントランスと「万葉の庭」(旧知事公館庭)



おやこスペース



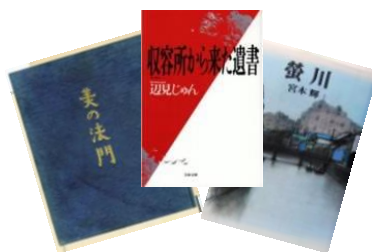
ライブラリーコーナー

H25年12月
県特別栄誉賞受賞



中西進館長

H25年11月
文化勲章受賞



- ・美の法門 (柳 宗悦)
- ・收容所から来た遺書 (辺見じゅん)
- ・螢川 (宮本輝)

○文学館に寄贈いただいた貴重な資料



郷倉千鞠
「芙蓉」



後陽成天皇宸翰
三首倭歌



落合 務 氏

人気のイタリアン
シェフ落合氏が出店
「ラ・ベツトラ」
(「日本一予約が困難な店」と言われる)

○企画展等の開催

H25

- ①「立山曼荼羅を文学する」展
- ②「辺見じゅんの世界」
- ③「『世界のムナカタ』を育んだ文学と民藝」



「ムナカタ」展

H26年度の取組み(予算:4,300万円)

- H26 ①「藤子・F・不二雄のS・F」展(3.21~6.2)
- ②「おわら風の盆と八尾の文学」展(7月~11月)
- ③「久世光彦」展(12月~H27.2月)

○文化フォーラム「花と水と山、文化の交響」開催(予算:1,300万円)

- ・識者、ゲストによるフォーラム
- ・芸能の披露 など



○日本ペンクラブ「平和の日の集い」開催支援(予算:540万円) 著名作家によるリー対談(H27.3.1 オーバードホール)

○文学館で学ぼう! モデル事業(予算:100万円) 小学生に文学館へ来てもらって、体験授業等を実施(20校)

文学講座、朗読と音楽の夕べ、ゆかりの地めぐり



万葉朗唱の夕べ



朗読と音楽の夕べ